

五百羅漢 完成



額は故前角博雄老師による揮毫





■恒例 善光寺旅行会

平成二十七年五月十一日・十二日

信州善光寺御開帳参拝

恒例の善光寺旅行会、今回は、平成二十七年五月十一日から一泊二日で信州長野の信濃の善光寺様を参拝致しました。参加者は、住職をはじめ総勢四十八名、バス一台での旅行となりました。

【第一日目】

午前七時に皆さん元気に出発。東名高速を圏央道へ中央道をひた走り、山梨県甲州市の甲斐・武田家の菩提寺である恵林寺様を見学。恵林寺様は臨済宗妙心寺派の名刹です。武田信玄公に引導をお渡しになった快川和尚の遺像



安禪必ずしも山水を須いず
心頭滅却すれば火も自ら涼し

を刻した大きな石柱が境内にあり、石庭や武田不動尊、柳沢吉保の墓所も見学できました。

お昼は「風林火山 響の里」にて和太鼓の演奏を拝聴しながら「ほうとう御膳」を頂戴致しました。

午後は甲斐・善光寺様を見学。

武田信玄公が信州・善光寺のご本尊を奉遷、開基として建立された七堂伽藍の完備した大寺院です。

撞木造の金堂は、山門と共に重要文化財に指定されています。

宿泊は、長野県諏訪湖畔、上諏訪温泉。



【第二日目】

長野市善光寺へ。

今年未年は、御本尊一光三尊阿弥陀如来の七年に一度の御開帳の年。御本尊様とつながる「回向柱」に触れようと大勢の参拝者。何とかたどり着いてご縁を結びました。皆、何をお祈りしたのでしょうか。

その後、安曇野の大王わさび園にて昼食、帰路につきました。

おかげさまで、両日とも好天に恵まれ、穏やかな陽光のもと、和やかな、たいへんありがたい、そして楽しい参拝旅行でありました。



清水寺瑩山禪師顕彰碑



上：除幕式にて（平成13年11月15日）

左より板橋興宗禪師、黒田倫子、
森清範清水寺貫首

左上：挨拶をされる黒田武志先代方丈

左：顕彰碑を示す石碑



◇善光寺旅行会よりお知らせ◇

本年は信州善光寺御開帳参拝に大勢の方が御参加下さり有難うございました。

来年は、京都・清水寺様への参拝旅行を企画しております。大勢の方のご参加をお待ち申し上げます。

清水寺は、皆さまよくご存知の通り世界遺産にも登録され由緒あるお寺です。ご本尊様は十一面千手観音様、北法相宗のご本山です。山号は「音羽山」開創は奈良時代で千二百余年前にさかのぼります。

この奥深く歴史ある清水寺様は曹洞宗とも深い関わりがあり、不思議な縁起を観ずることが出来ます。

善光寺では平成十三年、大本山總持寺御開山瑩山禪師と清水寺の観音様とのご縁を顕彰する碑を寺族、黒田倫子様（博志住職の母上）が寄

進をさせて頂く勝縁に恵まれました。

先代様の十三回忌を迎える来年、今一度「感謝報恩の旅」を企画させて頂きました。

詳細は後日お送りさせて頂きますが、季節の好い五月十六、十七日を予定しております。

